

<平成30年度 児童通所支援事業所さくらんぼ 児童発達支援 事業所評価 結果>

● 配布数：13名 回答数：9名 回答率：69.2%

	アンケート内容	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	事業所より
1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	9					
2	職員の配置数や専門性は適切であるか	5	1		3	・職員写真の所に、保育士・支援員等業種を書いて欲しい。	・検討させていただきます。
3	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	7			2		
4	生活空間は、清潔で心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	9					
5	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、個別支援計画が作成されているか	9					
6	個別支援計画には、「発達支援」「家族支援」「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上、具体的な支援内容が設定されているか	8	1				
7	個別支援計画に沿った支援が行われているか	8	1				
8	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	7	1		1		
9	保育所等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	6			3		・南東北こども学園と合同でハロウィンパーティを楽しみました。また、夏には中高生のボランティアが来所したりと交流する機会が増えています。
10	契約時に運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	9					
11	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容を示しながら支援内容の説明がなされたか	9					
12	保護者に対して家族支援プログラム（勉強会、研修案内等）が行われているか	8			1		
13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	7	2				
14	定期的に、面談や育児に関する助言等の支援が行われているか	9				・回数を増やして欲しいです。	・平成30年度より、定期的保護者面談を年1回から2回に増やしました。また、必要に応じて不定期での面談も実施していますので、お声かけください。
15	保護者交流等により保護者同士の連携が支援されているか	8			1		
16	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、迅速かつ適切に対応されているか	8			1		
17	子どもと保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	8			1		
18	定期的に広報誌やホームページ等で活動や行事の様子、その他の情報を発信しているか	8			1		
19	個人情報の取り扱いに十分配慮しているか	6			3		・利用契約書の第8条に個人情報保護についての体制が定められています。
20	緊急時や感染症への対応の周知や実際の対応、訓練等が実施されているか	8			1		・事故防止委員会と感染対策委員会があり、施設全体で緊急時対応や事故、感染防止に努めています。
21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	6			3		・月1回の通報機器訓練と年2回、消防署に指導をいただきながら、総合防災訓練を実施しています。実施する日程によってはお子さんも参加することがあり、その際は事前にお知らせし、参加可能かの確認をしています。
22	子どもは利用を楽しみにしているか	9					
23	職員の接遇はよいか	9					
24	事業所の支援に満足しているか	8	1				
25	その他（ご意見等）					・個別面談の時間を増やして欲しいです。	・平成30年度より、定期的保護者面談を年1回から2回に増やしました。また、必要に応じて不定期での面談も実施していますので、お声かけください。